

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (沖縄)	良くなっている	百貨店（営業企画）	販売量の動き	・前年同月は消費税増税後の反動で苦戦した月であった。本年はその反動で30%強伸長している。前々年との比較では20%強の伸長となっている。インバウンド売上としては、前年同月の8倍で、その他に改装効果等もあり、順調な伸びとなっている。
	やや良くなっている	旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・旅行の問い合わせなどは増えている。若干ではあるが前年を上回りそうである。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・国内の個人客や、インバウンドの個人客及び団体客が増えている。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・計画的に少し単価を抑えたが、それ以上に利用者増が見られた。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・本島中部で大型の賃貸マンションや商業店舗、民間アパートなどの相談が増えている。
	変わらない	スーパー（販売企画担当）	単価の動き	・一品単価がアップした状況が3か月前から変わらず継続している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客は、必要な分だけ買うように見受けられる。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・たばこについては昨年の値上げの反動で4月の前半は数値は突出してよかった。たばこを除いた商品もやや昨年を上回っている状況であるが、大きくは変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	それ以外	・4月に入り、客の数も増えてきたが、25日以後は大型ショッピングモールがオープンした影響か、南部方面は来客数が減少しているように感じられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・2～3か月前と同様に、稼働率の実績においては前年同月比でマイナスとなっている。ここ2～3か月は前年実績との差が、近い値で推移している。
その他のサービス[レンタカー]（営業担当）		単価の動き	・今月の貸渡件数は、前年を下回ったものの、稼働単価の上昇により売上は前年を上回った。	
やや悪くなっている	その他専門店[楽器]（経営者）	販売量の動き	・来客や問い合わせで小口の商いは増えている。しかし同業者との価格競争や、商品開発力や営業力の弱さで売上は低迷している。外国人観光客は増えているが、国内観光客の動向と目抜き通り周辺の魅力がどうなっていくのかが心配である。	
	通信会社（店長）	販売量の動き	・前月までは前年を上回る販売数だったが、4月に入り大きく落ち込んでいる。特に他社からの乗り換えの客が減っている。	
	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅見学会の来場数が、前月比でマイナス34%となっている。	
悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・今月下旬、本島中部に大型ショッピングモールができた。どの程度那覇市に影響があるのかが読めず、微妙なところである。中部方面の住民は影響を受けると思うが、那覇市の住民も当面は見に行くと思われるので、多少は飲食関係に影響があるのではと懸念している。	
	その他飲食[居酒屋]（経営者）	それ以外	・アジアーとも言われるショッピングセンターがオープンした。たださえ人材確保が厳しい上に、一時、倍近くまで時給が上昇したため中小の店舗では人件費負担が重くのしかかっている。	
企業動向関連 (沖縄)	良くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築の契約件数が増えた。
	やや良くなっている	輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・外食、アパレル、家具、家電、建築関連含め取扱貨物量が増えている。また、受託単価も人件費、燃料費、車両費の増加に見合う価格となっている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは前年比増、民間向けは前年比減で、全体ではやや増加している。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・4月は例年、発注先である本土企業の予算執行が遅く仕事が少なくなる。今年も同じ状況である。状況が悪くなるという情報は特でない。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・入域観光客は増加しているが、客単価増加には直接結び付いていない。
やや悪くなっている	食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・食品関係については円安、原材料高等による値上げで市場価格が上昇しており、消費の減速がみられる。また、大型店での雇用増加による影響で、募集しても応募者が少ないなどの人材不足が聞かれる。	

	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
(沖縄)	やや良く なっている	人材派遣会社 (総務担当)	求人数の動き	・県内の中部圏地域に大型商業施設がオープンし、施設内企業の求人増加で新たな雇用の場が増え、人材を確保するため賃金単価が大幅にアップしている。賃金単価アップの影響はこれからだと思うが、人材確保難のため、県内企業においても間違いなく上昇していくと思われる。県内派遣業界も少しずつ上昇してきている。
		学校[専門学校] (就職担当)	雇用形態の様子	・契約社員しか雇用していなかった企業が、正社員雇用に切替えてきている。
	変わらない	学校[大学] (就職担当)	周辺企業の様子	・当初は新卒採用に積極的であったが、後ろ倒しの影響もあり手探り状態が続いている。企業もここへ来て慎重になってるところがある。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社(編集室)	採用者数の動き	・12～3月まで掲載があった本島中部の大型ショッピングモールの募集が一段落ついた。ゴールデンウィーク前に求人採用を済ませている企業が多く、4月後半からは落ち着いた。
	悪く なっている	-	-	-